令和７年度　　日野市立 日野第四中学校　　経営重点計画　　自己評価シート　　令和7年6月公表

★学校の教育目標　〇よく考え学ぶ人　〇心身を鍛えやり抜く人　〇他を思いやり責任ある行動をとる人

★重点計画の概要

学びの変革プロジェクト
『対話が豊かな人間性を想像する学校』プロジェクト

総合的な学習の時間を中心に、生徒が探究的な学習に取り組めるように授業改善を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。教育活動全体で他者と協働する機会を多く生み出すことで、将来社会に出た時に生きて働く学力を身につけるとともに、多様な個性や考えに触れる経験を増やし、多様性の理解や豊かな人間性の育成を図る。

★目指す学校像（ビジョン）

【目指す生徒像】　よく考え自ら学ぶ人　・　心身を鍛えやり抜く人　・　自分と他者の多様な個性を認め合える人

【目指す学校像】　安全で安心して生活ができる学校　・　学び喜びを享受できる学校　・　地域とともに歩む学校

【目指す教師像】　生徒理解と愛情をもって向き合う教師　・　意欲的に授業を行う実践力のある教師　・　チームワークの意識高く職務に当たる教師　・　教育公務員としての服務の厳正を行う教師

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準 取組指標	評価指標・評価基準 成果指標
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	「学びの変革プロジェクト」 探究的な学び、主体的・対話的で深い学びの実現	・総合的な学習の時間を中心に、探究的な学びを推進する。 ・言語活動の充実や、一人１台端末を活用した協働的な学びを充実させる。 ・学習の個別最適化と協働的な学習の一体的な充実にむけた授業改善に取り組む。	・総合的な学習の時間において、外部講師を招聘した校内研究会や研究授業を実施し、授業改善を図る。 ・すべての教科において、一人１台端末を活用した授業や対話的な活動を推進する。 ・AIドリルの活用や、授業のUD化の視点に立った授業改善を行い、学習の個別最適化を図る。 ・各種学力調査や年２回実施する授業アンケートのデータを分析し、エビデンスに基づいて課題を見いだし、授業の改善を行う。	4　主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図ることができた教員95%以上	4　授業では、課題を達成するために自分なりに考え、自分からすすんで学習に取り組んでいる生徒95%以上
				3　主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図ることができた教員90%以上	3　授業では、課題を達成するために自分なりに考え、自分からすすんで学習に取り組んでいる生徒90%以上
				2　主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図ることができた教員80%以上	2　授業では、課題を達成するために自分なりに考え、自分からすすんで学習に取り組んでいる生徒80%以上
				1　主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図ることができた教員80%未満	1　授業では、課題を達成するために自分なりに考え、自分からすすんで学習に取り組んでいる生徒80%未満
	健やかな体の育成	・生涯にわたって運動に親しみ、健康で安全な生活を送ろうとする態度を育成する。 ・主体的に運動に取り組めるように、教科や学校行事、部活動、地域活動等、様々な機会を創出する。	・保健体育の授業で、主体的にスポーツに取り組むように授業改善を図る。また、２年生で「がん教育」、３年生で「薬物乱用防止教室」を実施し、健康についての正しい知識を習得する。 ・泰花祭体育の部では、実行委員の生徒を中心に生徒が課題を設定し協働して目標達成に向けて取り組めるように支援する。 ・部活動指導においても、生涯にわたってスポーツに親しむことができるように支援する。 ・地域が主催するスポーツ行事への参加を生徒に紹介する。	4　学校行事や部活動等を通して、生徒が主体的に運動に取り組む指導を行った教員95%以上	4　授業、学校行事や部活動等を通して、運動に親しむことができた生徒95%以上
				3　学校行事や部活動等を通して、生徒が主体的に運動に取り組む指導を行った教員85%以上	3　授業、学校行事や部活動等を通して、運動に親しむことができた生徒85%以上
				2　学校行事や部活動等を通して、生徒が主体的に運動に取り組む指導を行った教員80%以上	2　授業、学校行事や部活動等を通して、運動に親しむことができた生徒80%以上
				1　学校行事や部活動等を通して、生徒が主体的に運動に取り組む指導を行った教員80%未満	1　授業、学校行事や部活動等を通して、運動に親しむことができた生徒80%未満
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	自他の個性と多様性を認め合う人間性の育成	・生徒の人権意識を高め、生徒が自分と他者の個性や多様性を認め、思いやりをもった行動がとれる生徒を育成する。 ・生徒が気軽にいつでも学校に相談できる体制を構築し、生徒が安心して登校できる環境づくりを目指す。	・教員が生徒指導提要の理解を深め発達支持的生徒指導が充実できるように、生徒への声掛けや生徒への寄り添った相談体制を構築する。 ・道徳の研究授業、各教科における人権に関連した研究授業を校内で実施し、生徒の人権意識を高める授業を推進する。 ・生活アンケートの実施方法や対応を改善するとともに、常設の相談フォームを開設し、いつでもどこでも生徒から悩みを相談することができる環境を構築する。	4　道徳や教科等を通して、生徒の人権意識を高める指導や支援を行った教員95%以上	4　自分と他者の個性の違いを受け入れ、思いやりをもって学校生活をおくることができた生徒90%以上
				3　道徳や教科等を通して、生徒の人権意識を高める指導や支援を行った教員85%以上	3　自分と他者の個性の違いを受け入れ、思いやりをもって学校生活をおくることができた生徒85%以上
				2　道徳や教科等を通して、生徒の人権意識を高める指導や支援を行った教員80%以上	2　自分と他者の個性の違いを受け入れ、思いやりをもって学校生活をおくることができた生徒80%以上
				1　道徳や教科等を通して、生徒の人権意識を高める指導や支援を行った教員80%未満	1　自分と他者の個性の違いを受け入れ、思いやりをもって学校生活をおくることができた生徒80%未満
	誰一人取り残さない学校	・生徒にとって相談しやすい環境づくり ・いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応の徹底、強化 ・特別支援教育の充実と、不登校の未然防止、早期対応、長期化した生徒への対応の充実	・生活アンケートの内容や対応を工夫・改善し、生徒が相談して良かったと思える支援を行う。 ・常時投稿できる相談フォームを開設し、生徒がいつでも、どこでも、どんなことでも相談できる体制をつくる。 ・いじめ防止基本方針を生徒や保護者に周知し、基本方針に基づいた対応の徹底を図り、いじめの早期発見・早期対応を行う。 ・校内委員会でステップ教室担当教員やSC、SSW、不登校巡回教員と情報共有を行い、個々の生徒の状況に応じた支援方法を検討する。	4　生徒への声掛けや支援を日頃から意識し、相談や困りごとに親身に対応することができた教員95%	4　困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると思う生徒95%以上
				3　生徒への声掛けや支援を日頃から意識し、相談や困りごとに親身に対応することができた教員85%	3　困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると思う生徒90%以上
				2　生徒への声掛けや支援を日頃から意識し、相談や困りごとに親身に対応することができた教員75%	2　困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると思う生徒80%以上
				1　生徒への声掛けや支援を日頃から意識し、相談や困りごとに親身に対応することができた教員75%未満	1　困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると思う生徒80%未満
社会と未来に開き、みんなでつくる	家庭・地域・社会と協働した教育活動の推進	・地域や社会の多くの人材が生徒の学習活動に直接関わり、生徒が地域とのつながりを実感する。 ・コミュニティ・スクール１年目として、学校運営協議会の組織や体制、運営方法等を確立する。	・総合的な学習の時間において、地域や保護者、大学等と連携し、学習課題に応じて様々な地域人材が授業に参画し、生徒の学習活動の助言やサポートを得る。 ・学校行事の運営や、生徒の見守り活動等の場面で、PTAや地域コーディネーター、地域ボランティア等の協力を得る。 ・学校運営協議会委員と教員との懇談会、授業参観、各種データ等の提示を行い、学校への理解を深めてもらう。学校運営協議会での熟議を通して、地域の意見を学校経営の改善に反映する。	4　授業等で地域の人材を活用し、地域とのつながりを感じさせる指導ができた教員95%以上	4　地域や社会とのつながりを感じたり、地域の大人から応援されていると感じたりしている生徒95%以上
				3　授業等で地域の人材を活用し、地域とのつながりを感じさせる指導ができた教員85%以上	3　地域や社会とのつながりを感じたり、地域の大人から応援されていると感じたりしている生徒90%以上
				2　授業等で地域の人材を活用し、地域とのつながりを感じさせる指導ができた教員80%以上	2　地域や社会とのつながりを感じたり、地域の大人から応援されていると感じたりしている生徒80%以上
				1　授業等で地域の人材を活用し、地域とのつながりを感じさせる指導ができた教員80%未満	1　地域や社会とのつながりを感じたり、地域の大人から応援されていると感じたりしている生徒80%未満
	地域活動に参画し、地域に貢献しようとする態度の育成	・地域に愛着をもち、地域の中で様々なホンモノの体験に触れ、ホンモノの感動を味わう。 ・地域の中で、自らができること、貢献できることを主体的に見つけ出そうとする態度を育成する。	・学校運営連絡協議会の活動を通して、生徒の地域活動への参画を増やす方策について検討する。あわせて、教員の過度な負担がない中で実現できる方策を模索する。 ・PTA、育成会、オヤジの会、商工連合会、学区内小学校や児童館、福祉事務所等との連携を図り、生徒の活動の機会を創出する。 ・生徒会主催の地域清掃の参加人数が増えるように活動を支援し、ボランティア活動に参画しようとする生徒を増やす。	4　地域行事やボランティア活動への参加を生徒に勧めたり、地域の行事に生徒と一緒に参加した教員95%以上	4　地域の行事やボランティア活動に参加した生徒75%以上
				3　地域行事やボランティア活動への参加を生徒に勧めたり、地域の行事に生徒と一緒に参加した教員90%以上	3　地域の行事やボランティア活動に参加した生徒65%以上
				2　地域行事やボランティア活動への参加を生徒に勧めたり、地域の行事に生徒と一緒に参加した教員80%以上	2　地域の行事やボランティア活動に参加した生徒55%以上
				1　地域行事やボランティア活動への参加を生徒に勧めたり、地域の行事に生徒と一緒に参加した教員80%未満	1　地域の行事やボランティア活動に参加した生徒65%未満

※評価指標・評価基準は、２の段階を現状としています。